



第310号

2014年(平成26年)11月1日

大臨技ニュース

〒543-0018
大阪市天王寺区空満町 8-33
大阪府医師協同組合東館 4 階
TEL.06-6763-5652 FAX.06-6763-5653
公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
発行責任者: 運天 政五郎
大臨技ホームページ URL
<http://www.osaka-amt.or.jp/>

第10回

府民健康フォーラム

— 私たちの暮らしと薬・検査・栄養 —

国の統計調査によると、高血圧と推定される人は3人に1人、とりわけ、40～74歳の人のうち男性は約6割、女性は約4割が高血圧といわれています。
高血圧症は、ほとんど自覚症状がないため、気づかずに放置しておくこと全身の動脈硬化が進み、特に脳血管や心臓、腎臓などに障害を起こす引き金となります。

今回は、「高血圧」の理解を深め、予防・改善するために「高血圧は、なぜ身体に悪いの？」をテーマに、府民の皆様が元気で快適な生活を送るヒントを薬剤師・臨床検査技師・栄養士それぞれの立場から情報発信いたします。

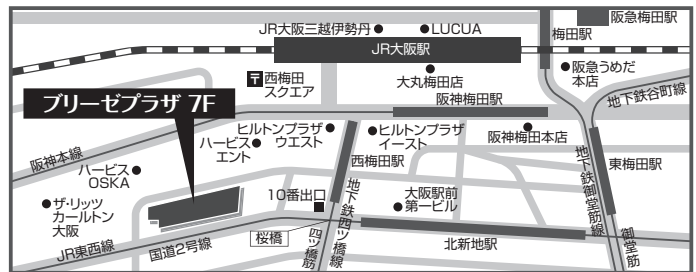
Theme 高血圧は、なぜ身体に悪いの？

～高血圧のチェック・食事・日常生活における工夫～

日時 平成26年11月9日(日)
14:00～16:40

会場 プリーゼプラザ小ホール
大阪市北区梅田2-4-9 プリーゼタワー7階
地下鉄四つ橋線「西梅田」駅下車10番出口
西へ徒歩3分

入場料 無料



13時15分より講演開始まで薬剤師会、臨床検査技師会、栄養士会による相談コーナーを設置しておりますので、お気軽にご相談ください。

プログラム

基調講演「高血圧について」

講師：大阪府医師会 理事
加納内科 院長 加納 康至

講演Ⅰ「高血圧と食事」

講師：大阪府栄養士会理事 市立柏原病院
医療技術部栄養管理科
科長 内藺 雅史

講演Ⅱ「高血圧のための臨床検査」

講師：地方独立行政法人 明石市立市民病院
臨床検査科 BML 検査室 吉本 茂

講演Ⅲ「高血圧治療薬について」

講師：大阪府薬剤師会 理事 愛仁会本部
学術部 資材部 部長 西川 直樹

申込方法

- ▶ ハガキ、FAX、E-mail でお申込ください。
「郵便番号・住所・氏名・電話番号・参加希望人数」を明記のうえ、下記申込先までお送りください。
- ▶ 招待状の発送はいたしませんので、お申し込みされましたら直接会場までお越しください。
(定員を超過した場合のみご連絡いたします。)

申込先

ハガキ: 〒540-0019 大阪市中央区和泉町 1-3-8
社団法人 大阪府薬剤師会内「府民健康フォーラム」係
F A X : 06-6947-5480
E-mail: kenkoforum@osaka-fuyaku.jp

申込締切 平成26年11月7日(金)

定員 330名

申込の際の個人情報は、本フォーラムの運営管理以外には使用いたしません。なお、電話番号・住所は定員を超過した場合のご連絡のみに使用いたします。

お問合せ先 一般社団法人 大阪府薬剤師会「府民健康フォーラム」係
TEL:06-6947-5481 (平日午前9時～午後5時)

主催 一般社団法人 大阪府薬剤師会・公益社団法人 大阪府臨床検査技師会・社団法人 大阪府栄養士会

後援 大阪府、大阪市、堺市、東大阪市、高槻市、豊中市、枚方市

学術部 血液検査部門からのお知らせ

血液形態セミナーシニアコース 開催日変更のご案内

11月は第2木曜日11月13日(木)開催です。
今月のみ第1木曜日から変更になっておりますので
ご注意ください。

渉外部からのお知らせ

府民
公開講座

平成26年度 HIV 予防啓発講演会

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
評価点
日臨技生涯教育点数

厚生労働省エイズ動向委員会のエイズ発生動向の報告によると、2012年は2008年をピークに若干の減少に転じていますが、依然として新規報告数は、多く、2007年より1000件をオーバーする事態となっています。

報告数の上位は、東京都、大阪府、愛知県と人口の多い都市部に集中しており、感染経路も性的接触が最も多く、われわれの身近に存在する感染症とも言えます。

今回、府民や多くの方に対する啓発を目的に、講演会を開催します。HIVの現状や予防、教育の方法など、一般の方々にも理解していただけるような内容となっております。

日時 平成26年11月15日(土) 16:15~18:00

会場 大阪医療技術学園専門学校

参加費 無料 (一般・学生の方、どなたでも参加できます。)

連絡先 市立豊中病院 臨床検査部 清水 隆之

E-mail akane@mub.biglobe.ne.jp

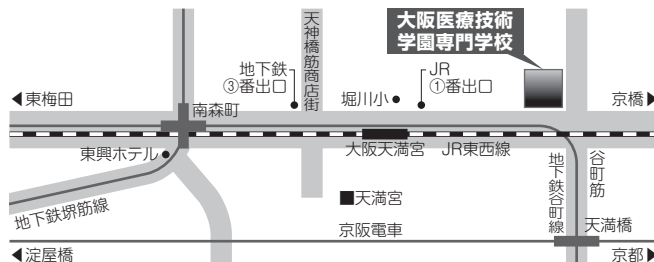
内容

1. HIV感染症の現状や予防

講師：大阪府健康医療部 保健医療室地域保健感染症課
感染症グループ 田中 佐代子(保健師)

2. HIV感染症の検査と治療

講師：大阪府立公衆衛生研究所 ウィルス課
森 治代(主任研究員)



学術部 緊急検査部門からのお知らせ

緊急検査部門 定期講演会

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
評価点
日臨技生涯教育点数

Theme 緊急輸血

緊急検査部門の第3回定期講演会は、“緊急輸血”をテーマとして取りあげて行います。各施設から緊急輸血の状況や現状などを報告していただき参加者と共に対応や問題点の共有できる講演会を企画しております。

緊急輸血に対する“不安”を“スッキリ”に変えてみませんか。ご参加を心よりお待ちしております。

日時 平成26年11月11日(火) 18:30~20:00

会場 大阪医療技術学園専門学校 2階 大教室

参加費 会員500円 非会員1,000円

大阪府立中河内救命救急センター 津田 喜裕

E-mail:nmcam-lb2@nmcam.jp

連絡先 TEL:06-6785-6166 (内線8556)

プログラム

1 救急病院での緊急輸血
講師：岸和田徳洲会病院 田代 健一朗

2 産婦人科での緊急輸血
講師：小阪産病院 井上 アキ

3 大学病院での緊急輸血
講師：近畿大学医学部附属病院 井手 大輔

学術部 臨床化学検査部門からのお知らせ

臨床化学検査部門 講演会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
評価点
日臨技生涯教育点数

Theme 「尿生化学検査の勘どころ」

講師 済生会吹田病院 臨床検査部 高崎 匡

11月 は台風で延期になっていた、尿中の化学成分分析をテーマにデータの読み方や測定上の注意点などについて解説します。自動分析装置で測定される尿中電解質や蛋白・アルブミン、尿中酵素等・・・蓄尿やeGFR等問題点を整理しながら皆さんと一緒に考えていきたいとします。

日時 平成26年11月13日(木) 18:30~20:00

会場 大阪医療技術学園専門学校

参加費 会員500円 非会員1,000円

連絡先 岸和田徳洲会病院 山中 良之

E-mail Yoshiyuki.yamanaka@tokushukai.jp

免疫血清検査部門 特別講演会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

Theme 糖尿病

- ☆糖尿病治療薬の進歩が速くて理解が追いつかない(汗)。
- ☆CDEJの取得・更新に、認定単位が必要だ。
- ☆糖尿病教室で療養指導をしなきゃいけなくなった(汗)。
- ☆管理栄養士さんや薬剤師さんのお話を拝聴する機会があまりなかった(涙)。
- ☆今、診療の最前線ではどんなことが行われているの？

そんな皆さんに、とっておきの特別講演会を企画しました。我が国での「糖尿病」もしくは「糖尿病予備軍」の数字は上昇してきております。その栄養指導は食品交換表も改訂され日々進歩しています。また、治療薬も1昨年から新しいものが次々と登場し進化してきております。一方、検査の方も確実に進んできています。

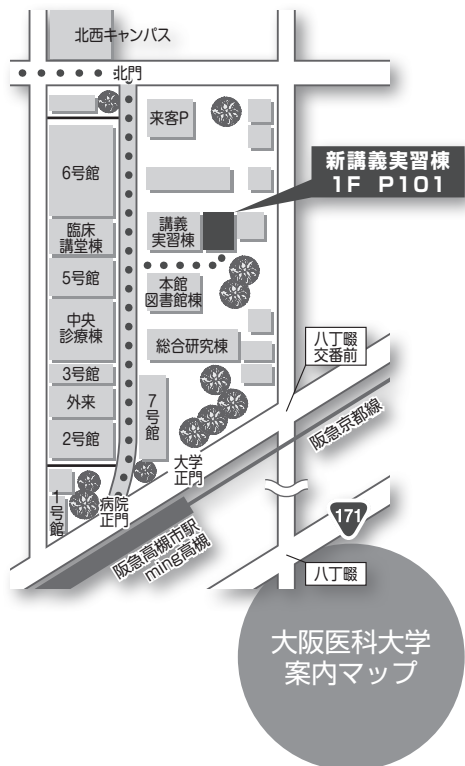
これらをプロの先生方にご解説いただき検査結果をどのように利用しているのかを分かりやすくかつ大胆にご解説いただく予定です。また最後には佐野寛行先生に「最前線と未来展望」についてご教授いただきます。

絶好の行楽日とで皆様方におかれましてはご多忙のこととは存じますが、ぜひともご参加くださいますようお願い申し上げます。

「糖尿病～幅広い知識を吸収するために」

- 14:05～14:35 より高みを目指して、進化する血糖測定機器
講師：ジョンソン&ジョンソン株式会社 梶 優展
- 14:35～15:25 カリスマ管理栄養士のお話を聞いてみませんか？
講師：市立芦屋病院栄養管理室 澤田 かおる
- 15:25～16:15 患者のパーソナリティと理解度に合わせた臨床検査結果の説明法
講師：ふくだ内科クリニック 横山 有子
- 16:25～17:15 世界に羽ばたく薬剤師が語る…誰でも分かる薬物療法のお話
講師：市立芦屋病院 薬剤科 明石 延子
- 17:15～18:30 糖尿病診療の最前線と未来展望
講師：大阪医科大学附属病院 糖尿病代謝内科 佐野 寛行

※本研修会は「日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会」として
<第2群>糖尿病療養指導研修1単位(認定番号14-0880)の認定申請が可能です。



日時 平成26年11月8日(土) 14:00～18:30

定員 100名(先着順)

会場 大阪医科大学 新講義実習棟P101講堂(PA会館 1階)

連絡先 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 上田 一仁
E-mail:k.ueda@ashiya-hosp.com

参加費 会員1,000円 非会員2,000円

他職種
公開講座

微生物検査部門 定期講演会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

Theme 「糸状菌の同定・薬剤感受性試験法について」 講師 国立病院機構 刀根山病院 佐子 肇

糸状菌の鑑別に難しさを感じた方は、多いと思われます。各種研修会や資料などで見たりはしているものの、種名までしっかりと臨床に報告するには経験と知識がとても必要な分野であるのではないのでしょうか？

今回は、同部会の世話人でもある佐子先生に、糸状菌の同定・鑑別・感受性検査について各々のポイントを分かりやすくお話しいただきます。長年の先生のご経験からくる本講演は、我々の現場にとっても有用でためになる話ばかりです。皆様ふるってご参加ください。

日時 平成26年11月27日(木) 18:30～20:00

会場 大阪医療技術学園専門学校 2階 大教室

参加費 会員500円 非会員1,000円

連絡先 大阪赤十字病院 臨床検査科部 市村 佳彦
Email y.ichimura.orc@gmail.com

受付時に大臨技会員証を必ず提示してください。
会員証の忘れ及び他府県会員証では、非会員扱いになりますので
ご注意ください。

糖尿病療養指導部会 定例勉強会

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

前半は「検査技師が検査室の外でどのような活動ができるのか?」というテーマで近畿大学病院での検査技師の活動を紹介します。糖尿病教室、NSTやICTへの参加など多くの施設で行われている活動から、さらに外科病棟での検査説明や検体採取などの支援、救命救急センターでの初療支援など独自の検査技師の活動までご紹介します。

後半は10年ぶりに改定されたSMBG機器のISO15197について説明していただきます。「基準機に対して100mg/dL以上で±15%以内に95%が入ること、というのは何検体実施してのことか?」「同時再現性がグルコース濃度によって異なるのはなぜ?」などQ&A方式を取り入れながらSMBG機器の検討時の正しい方法と併せて解説していただきます。SMBG機器の精度について正しい知識を身につけることで、きっと患者さんにも他の医療スタッフにも自信を持った説明ができると思います。

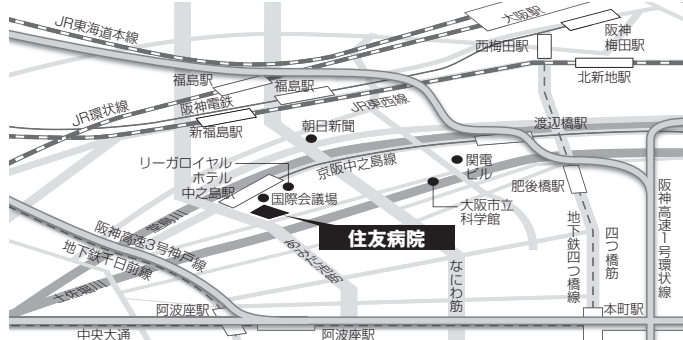
多くの皆様のご参加お待ちしております。

日時 平成26年11月12日(水) 18:30~20:00

会場 住友病院 14階講堂

参加費 500円(一律)

連絡先 ふくだ内科クリニック 横山 有子
E-mail ariko0219@gmail.com



- 施設紹介~チーム医療への臨床検査技師の貢献~
講師: 近畿大学医学部附属病院 中央臨床検査部 坂口 智恵
- SMBG機器に関するISO15197 どう改定されたのか? !
講師: テルモ株式会社 野副 寿恵

日本糖尿病療養指導士認定のための更新単位
(臨床検査技師のみ第1群):0.5単位
(CDEJの方で認定機構発行の「学会・研修会出席証明書」の
必要な方は各自持参して参加証明印をもらってください。
2群の単位は取得できません。)

第15回 内視鏡検査部会

大腸カプセル内視鏡の読影体験会

大腸カプセル内視鏡検査が、平成26年1月より公
的医療保険適応となりました。今回は、あまり経験
することはない大腸カプセル内視鏡はどのような検査か?

実際に、その仕組みと検査方法、さらに進んで、読影の体験までを企画いたしました。またとない機会です。検体検査の人も、生理の人も、どなたでもご参加できます。どうぞご期待ください。詳細は大臨技ホームページを参照してください。

日時 平成26年12月6日(土) 14:00~16:30

会場 (公社)大阪府臨床検査技師会事務所 会議室
TEL.06-6763-5652

大阪市天王寺区空清町8-33 大阪府医師協同組合東館4階

参加費 500円(一律)

定員 45名

連絡先 大阪労災病院 内視鏡センター 榎本 毅(エノモト)
E-mail et-iden0@orh.go.jp (出野)
TEL 072(252)3561(内線4258)

地図URL <http://yahoo.jp/C9BeAR>



注意 今回は事前申込み制です。上記アドレスまでメールにて
申込みください。先着順です。

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

輸血症例検討会(日臨技申請事業)

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

今回は近畿ブロック血液センターで行います。
せっかくの機会ですので、同時に血液センターの見学会も実施します。
皆様の参加をお待ちしています。

日時 平成26年11月30日(日)
症例検討会: 13:30~16:00(受付13:00~)
見学会: (集合1階見学ホール)
1回目/11:00~12:00
2回目/16:00~17:00

会場 近畿ブロック血液センター 4階会議室 1
(大阪モノレール「彩都西」駅から徒歩約10分)

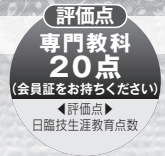
参加費 会員500円 非会員1,000円

※日臨技推進事業のため、日臨技会員も会員扱い。
連絡先 近畿大学医学部附属病院 輸血・細胞治療センター
金光 靖
E-mail yasushi.kanemitsu@sayama.med.kindai.ac.jp

- 血液型
講師: 大阪みなと中央病院 検査部 林 恵美子
- 不規則抗体
講師: 近畿大学医学部附属病院 輸血・細胞治療センター
金光 靖
- 血小板輸血
講師: 大阪府済生会中津病院 検査技術部 深田 恵利奈

*上履きをご用意ください。余分な上履きはありませんので
忘れないようにしてください。
*車での来場可(駐車無料)
*昼食は持参していただければ場所の提供はできません。

「第4回 腹部エコー実技研修会」のご案内



皆様より好評をいただいております腹部エコー実技研修会を今年も開催いたします。今回は昨年よりもさらにパワーアップした内容を企画いたしました。

これから腹部エコーを始める方や、基本を再度学習したい方のためのベーシックコースはもちろんのこと、急激な腹痛を主症状とし緊急に処置・治療を必要とする急性腹症へのアプローチにフォーカスを絞ったスキルアップコース、さらに、大臨技ではお馴染みとなりつつある、1日中プローブを持っていたい方のための実技集中コース、ひたすら座学を学び続ける講義集中コースも用意しています。日頃の疑問を解消し明日からの検査で役立てていただけるように、また爽りある一日となるように企画していますので、この機会にぜひともご参加ください！

Theme 臨床に立ち向かえるエコー技術を習得する！(スクリーニングから急性腹症まで)

開催日時：平成26年11月30日(日) 9:20～18:15

会場：関西医科大学附属滝井病院

〒570-8507 大阪府守口市文園町10番15号

<http://www.kmu.ac.jp/takii/t-access.html>

内容	時間	実技集中コース	ベーシックコース	スキルアップコース	講義集中コース
	9:00 ~ 9:20	受付			
	9:20 ~ 9:30 (10分)	開会・オリエンテーション			
	9:30 ~ 10:00 (30分)	事前講義 「3Dで解剖およびスクリーニング走査を理解する」			
	10:00 ~ 10:15 (15分)	移動・休憩			
	10:15 ~ 11:05 (50分)	実技講習① 「肝・胆を中心に」	講義B1 「基本からマスターする」～肝・脾～	実技講習① 「上腹部の急性腹症を診る」	講義B1 「基本からマスターする」～肝・脾～
	11:05 ~ 11:55 (50分)		講義B2 「基本からマスターする」～胆道～		講義B2 「基本からマスターする」～胆道～
	11:55 ~ 12:45 (50分)	昼食			
	12:45 ~ 13:35 (50分)	実技講習② 「上腹部の急性腹症を診る」	実技講習① 「肝・胆を中心に」	講義S1 「急性腹症：上腹部編」～肝・胆・脾～	講義S1 「急性腹症：上腹部編」～肝・胆・脾～
	13:35 ~ 14:25 (50分)			講義S2 「急性腹症：上腹部編」～胃・十二指腸～	講義S2 「急性腹症：上腹部編」～胃・十二指腸～
	14:25 ~ 14:40 (15分)	移動・休憩			
	14:40 ~ 15:30 (50分)	実技講習③ 「脾・腎・脾を中心に」	講義B3 「基本からマスターする」～腎～	実技講習② 「下腹部の急性腹症を診る」	講義B3 「基本からマスターする」～腎～
	15:30 ~ 16:20 (50分)		講義B4 「基本からマスターする」～脾～		講義B4 「基本からマスターする」～脾～
	16:20 ~ 16:35 (15分)	移動・休憩			
	16:35 ~ 17:25 (50分)	実技講習④ 「下腹部の急性腹症を診る」	実技講習② 「脾・腎・脾を中心に」	講義S4 「急性腹症：下腹部編」～腎・泌尿器・婦人科～	講義S4 「急性腹症：下腹部編」～腎・泌尿器・婦人科～
	17:25 ~ 18:15 (50分)			講義S4 「急性腹症：下腹部編」～虫垂・小腸・大腸～	講義S4 「急性腹症：下腹部編」～虫垂・小腸・大腸～
	18:15	閉会・解散			

募集人員：実技集中コース20名、ベーシックコース30名、スキルアップコース30名、講義集中コース20名<先着順>定員になり次第締め切ります

参加資格：医師、臨床検査技師、放射線技師、他、医療従事者で腹部エコーを勉強した方ならどなたでも参加できます。

参加費：会員：12,000円 非会員：13,000円 (昼食代・テキスト代込み)

*会員とは、大阪府臨床検査技師会に所属している技師

*非会員とは、大阪府臨床検査技師会に所属していない技師および他職種の方(大阪府以外の他府県技師会の会員は非会員となります)

応募期間：平成26年11月1日(土)～平成26年11月7日(金)11月1日以前の申込みに関しては受付いたしません。

申込要項：以下の項目を全て記入のうえ、メールにて下記アドレスへ申込みください

- 希望コース
- 氏名
- カナ氏名
- 年齢
- 性別
- 職種
- 施設名
- 部署名
- 施設住所
- 会員 or 非会員
- 会員番号(会員のみ)
- 連絡先E-mailアドレス(携帯メールは×)
- 腹部エコーの経験年数
- あなたご自身の1カ月の検査件数(概算で結構です)

申込先：seiribukai@hotmail.co.jp 1メール1名でお願いします。(同じメールアドレスを数回利用するのは可能です)

主催：(公社)大阪府臨床検査技師会 学術部 生理検査部門

問合せ先：大阪市立大学医学部附属病院 中央臨床検査部 安保 浩二 (kaboreinaren@gmail.com)

生物試料分析科学会 第2回近畿支部総会

日時 平成26年11月29日(土) 13:00~18:30

参加費 1,000円

会場 大阪大谷大学ハルカスキャンパス
(〒545-6023 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43
あべのハルカス23F)

連絡先 生物試料分析科学会 近畿支部事務局
近畿大学医学部附属病院 中央臨床検査部 増田 詩織
E-mail: shiori.masuda@sayama.med.kindai.ac.jp
TEL: 072-366-0221(内線2183)

総会長 大阪大谷大学薬学部 准教授 竹橋 正則

大阪大谷大学ハルカスキャンパスのホームページ
<http://www.osaka-ohitani.ac.jp/harukasu/>

13:00-13:30	近畿支部総会 司会：竹橋 正則(第2回近畿支部総会 総会長), 安原 正善(近畿支部 支部長)
13:50-14:00	生物試料分析科学会のご紹介 紹介：増田 詩織(近畿支部事務局)
14:00-15:30	シリーズ基礎講座 「生化学検査－クロマトグラフィーの基礎」 講師：日浦 直樹(ナカライテスク株式会社 開発企画部) 「輸血検査－カラム法の基礎」 講師：櫛引 健一(和泉市立病院 事務長) 「免疫検査－ビーズアレイ法の基礎」 講師：林 伸英(神戸大学医学部附属病院中央臨床検査部 技師長)
15:30-16:30	企業講演 「メタボリドHbA1cのご紹介」 講師：近藤 大(協和メデックス株式会社 営業支援部) 「ディメンション EXLによるLOCI法を用いたBNPの測定」 講師：福居 智行(シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社CAI事業部) 「FISH法を用いたコンパニオン診断薬」 講師：平岡 学(アボット ジャパン株式会社 モレキュラー事業開発部マーケティング部)
16:30-18:30	シンポジウム 個別化医療に向けた検査技術 「コンパニオン診断の現状と課題」 講師：畑中 豊(北海道大学病院コンパニオン診断学研究部門 特任講師) 「診断薬企業におけるコンパニオン診断薬の開発」 講師：篠田 達也(協和メデックス株式会社研究開発本部研究開発部)

プログラム

Voice

臨床検査技師教育機関からの声

臨地実習を終えて

はじめに、臨地実習先施設の先生方、本年度もお忙しい中ご指導いただきありがとうございます。なかにはご迷惑をおかけした施設もございます。しかしながら、学生のため、後進の育成のためとってくださったこと、誠に感謝しています。その気持ちに伝えるべく、より一層指導に力を入れてまいります。

さて、今回は学生からの臨地実習を終えた感想を少しですが、紹介いたします。

- ・学校では知ることができない知識を知り、たくさんの経験をさせてもらった。だからこそ、臨床検査技師になりたいという思いが強くなった。
- ・自分自身が教わる意欲を持っていないと意味がないと分かった実習期間だった。
- ・日常業務で多忙中、教えてもらえることに感謝し、積極的に行動するようにした。すると逆に感謝されて嬉しかった。
- ・目標に「積極的に行動」「元気良く」「報連相を忘れない」を掲げた。実習終了時には褒めていただけて嬉しかった。
- ・挨拶の重要性を再認識できた。

- ・自分のレポートは幼稚だと認識できた。恥ずかしさと申し訳なさでいっぱいであった。
- ・研究発表で多くの先生に助けもらった。発表後の達成感は一生涯忘れません。

私達が思う以上に、多くのことを感じた臨地実習だったようです。やはり学校と違い、臨床の現場でしか経験できない内容に刺激を受けたようで、今のこの熱い気持ちを忘れないようにしてほしいと思います。なかには「患者さん」と直接接することの緊張や「命」と向き合うことの重大さを意識し、不安を感じた学生もおります。しかし、それを上回る「やりがい」を感じたようで、安心しております。

臨地実習でのご指導を無駄にしないよう、国家試験合格はもちろんのこと、臨床検査技師として働けるよう就職活動にも努力してまいります。

来年度もまた、臨地実習でお世話になります。専門知識には個々の学生でばらつきはあります。しかしながら、実習生としての心構えは十分に教えこみ実習に臨ませます。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

日本医療学院専門学校 副教務主任三年担任 出雲 万里子

大臨技事務局からのお知らせ

■ 平成26年度「年会費」納入について

日臨技・大臨技の両方に入会されている方と**大臨技のみ**に入会されている方とでは、**会費の金額や納入方法が違いますので、ご注意ください。**大臨技ホームページに会費納入について掲載しておりますので、熟読のうえ、ご対応くださいますようお願いいたします。**大臨技のみに入会されている方は、早急に会費を納入くださいますようお願いいたします。**

※【重要】**会費未納の方については、7月より「大臨技ニュース」等の当会発行物の送付を中止させていただいておりますので、ご了承ください。**

日臨技・大臨技の両方に入会されている方は、日臨技へお問合せください。

■ 平成26年度「大臨技臨床検査技師賠償責任保険」について【重要】

平成26年度分の賠償責任保険の募集は、7月20日を持ちまして終了いたしました。

これ以降は保険の募集は行っておりませんので、ご了承ください。

■ 大臨技退会申請について

大臨技退会を希望される方は、大臨技ホームページより「**退会届**」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、**大臨技事務所までご提出ください。**

※【重要】**日臨技にも入会されている方は、日臨技と大臨技の両方に退会の申請を行ってください。**

■ 平成26年度大臨技会員証について

7月1日から9月30日までに会費を納入された方につきましては、**10月末頃に発送いたします。**

10月の発送を持ちまして最終発送といたします。

11月以降は、「**会員登録証明ハガキ**」を会員証の代わりとさせていただきます。

また、「平成26年度大臨技会員証」の発送は、封書からハガキによる発送に変更いたしました。

■ 会員証の再発行について

紛失等により再発行を希望される場合は、大臨技ホームページより「**大臨技会員証再発行申請書**」をダウンロードし**必要事項をご記入の上、大臨技事務所**に届けると共に、**当申請書に記載されている通り、再発行費500円を郵便局にてご納入ください。**

申請書と再発行費ご入金の両方を確認しましたら発行いたします。再発行日程は、会員証発行日程に準じます。

11月以降は、「**会員登録証明ハガキ**」を会員証の代わりとさせていただきます。

■ 臨床検査技師免許申請中の新入会員の方へ

臨床検査技師免許を取得されましたら、大臨技ホームページより「**臨床検査技師免許証番号届出書**」をダウンロードし、必要事項をご記入のうえ、**当会事務所までご提出ください。**現在は仮登録の状態ですので、免許証番号をご連絡いただきましたら、正会員として正式登録いたします。

※【重要】**届出が無い場合は、翌年3月末日で除籍扱いとなります。**

■ 施設・技師会・住所等の変更について

施設の異動・転入・転出による技師会の変更、転居による住所変更など、登録データに変更が生じた際は、速やかに**当会事務所までご連絡ください。**送付先が不明な場合、大臨技ニュース等の送付物をお届けできなくなります。

大臨技ホームページより「**会員異動届**」「**施設登録用紙**」をダウンロードし、必要事項をご記入のうえ、**当会事務所までご提出ください。**

質問・ご不明な点がございましたら、当会事務所までご連絡ください。

大臨技理事会報告 Executive board report

平成26年度 第6回(9月11日開催)開催分

- 「地域ニューリーダー育成講習会」の受講者選出について
日臨技より組織活性化及び組織強化事業の一環として、次世代の人材育成を目的とした「地域ニューリーダー育成講座」(10月25日～27日、至東京)に山本裕之氏(大阪赤十字病院)を推薦した。
- 精度保証施設認定証説明会の開催について
精度保証認定施設の1000施設目標達成に向け、当会は10月25日に開催を予定している。
- 「大臨技会報2014(通巻第200号、平成26年9月1日発行)Web版」が完成し、大臨技ホームページにアップした。
- 役員候補者選出委員について
役員候補者選出規程に基づき、下記7名の役員候補者選出委員の提案があり承認された。
・北地区より2名:松本 典久氏(市立吹田市民病院)、岩津 浩子氏(MIクリニック)
・中央地区より3名:辻 義則氏(大阪府結核予防会大阪病院)、大西 正信氏(大阪府成人病センター)、久保 清夏氏(大阪府済生会野江病院)
・南地区より2名:池田 勝美氏(城山病院)、三平 りさ氏(府中病院)
なお、選出委員長代行は、辻 義則氏に依頼することとし、第1回役員候補者選出委員会は、平成26年12月26日までに開催することとした。
- 日臨技会員と都道府県技師会会員の一体化について
日臨技会員と都道府県技師会会員の一体化を推進するため、当会においても日臨技と大臨技の両会に入会する会員を増やすための対策として以下の提案があった。
・日臨技と大臨技がタイアップする事業を拡大する。
・日臨技認定技師制度の充実と拡大を行う。
・日臨技と大臨技の両会に入会するメリットを広報する。
・大臨技のみの会員が比較的多い施設に対し、両会入会を促す。

Theme 「他職種に学ぼう！心理と行動と色彩」

秋と言えば、物思いにふける秋、紅葉の秋、ということで今回は心理や色彩について
3名の先生をお招きして勉強会を開きたいと思います。

心電図検査の時に大声で泣いている子供の上様なあやし方や採血時に患者さんの不安や緊張を解く方法、
医療現場において色彩がもたらす心理的効果など、日常の検査や職場環境作りにお役立ていただければ幸いです。
皆さま、ぜひとも、多数ご参加くださいますよう、よろしく願い申し上げます。

日時 平成26年11月22日(土) 14:30~17:35
(受付:14:00~)

会場 社会医療法人 生長会 府中病院
地下1階セミナーホール

参加費 500円(一律)

連絡先 阪南中央病院 臨床検査科 喜舎場 智之
E-mail:hannankensa@yahoo.co.jp
TEL:072-333-2100(内線367)
Fax:072-335-2005

14:30~14:35

オリエンテーション

14:35~15:15

第1部:「医療現場で役立てよう！乳幼児との関わり方」

講師: 社会福祉法人 四天王寺福祉事業団 四天王寺慈田院保育園
保育士 杉江 恭子 峠田 みつ子

15:25~16:25

第2部:「検査時の不安と緊張を解く方法」

講師: 女性ライフサイクル研究所 所長 臨床心理士
西 順子

16:35~17:35

第3部:「医療におけるカラーコーディネート」

講師: メディカル スペースデザイン株式会社 代表取締役
カラーコーディネーター 乾 真理子

JR阪和線「和泉府中駅」より徒歩約2分

ACCESS 大阪府和泉市肥子町1-10-17 Tel:0725-43-1234
<http://www.seichokai.or.jp/fuchu/>



Personal
Use

あなたの「いつも」を快適に。

シンプルな操作で血糖測定を実現 経済性にも配慮しました

自己検査用グルコース測定器

トゥルーピコ

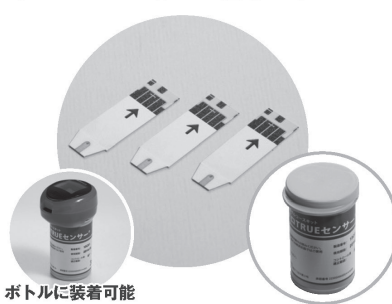
ニプロTRUEepico®



自己検査用グルコースキット

トゥルー

ニプロTRUEセンサー®



特長

- 必要血液量:0.5μL、測定時間:約4秒
- 測定範囲:20~600mg/dL
- 小型・軽量(17g)
- 初期設定不要(時刻合わせや環境設定がありません)

■ニプロTRUEepico® 医療機器承認番号:22500BZX00118000 高度管理医療機器(クラスⅢ)、特定保守管理医療機器
■ニプロTRUEセンサー® 医薬品承認番号:22500AMX00894000

単回使用自動ランセット

ニプロLSランセット

New セーフティリズ



■医療機器認証番号:224AABZX00195000
管理医療機器(クラスⅡ)

○使用上の注意等につきましては、添付文書をご参照ください。



NIPRO

製造販売

ニプロ株式会社
大阪市北区本庄西3丁目9番3号

製品に関する
お問い合わせ先

やさしい ニプロ
0120-834-226

9:00~17:30(土・日・祝祭日を除く)

※電話番号をよくお確かめの上、お掛けいただきますようお願い致します。

2013年8月作成

皆様のご意見、情報等お待ちしております。

FAX:06-6763-5653 E-mail:webmaster@osaka-amt.or.jp

郵送の場合は大臨技事務所までご送付ください。

平成26年12月号の原稿メ切は11月3日(月)、平成27年1月号は11月29日(土)です。